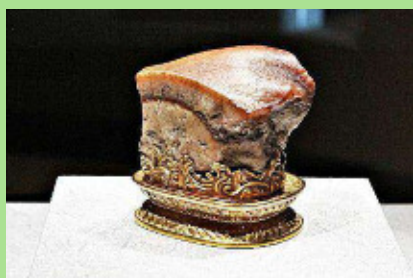


芦屋川カレッジ大学院 公開セミナー

一度は行きたい世界の美術館

国立故宮博物院

故宮博物院は台湾、台北および北京、紫禁城内と二つあります。その二つに分かれさせたことについては日本も深く関わっています。その歴史的な経緯についてお話するとともに、中国美術の鑑賞の仕方についても触れ、名品を解説してみたいと考えています。



【講師】 西宮市大谷記念美術館 館長 **越智裕二郎氏**

1949（昭和 24）年 6 月 4 日、神戸生まれ。1978 年早稲田大学大学院の美術史修士課程を終えたのち、神戸市立博物館創設潤部室学芸員に。南蛮美術館の神戸市立博物館への移転準備に従事。1990 年静岡県立美術館へ異動。さらに兵庫県立近代美術館へ、HAT 神戸の美術館移転準備のため 2000 年 8 月異動。2011 年より 2015 年 3 月まで広島県立美術館館長。2015 年 4 月より西宮市大谷記念美術館館長。

専門は南蛮美術。1999 年には静岡県立美術館で「東アジアの近代油画」展を開催、東アジアでの近代美術についても研究を進めている。

日時：2019 年 11 月 25 日（月）午前 10 時～11 時半

会場：芦屋市民センター ルナ・ホール

講師：西宮市大谷記念美術館 館長 越智 裕二郎 氏

受講料：400 円

申込不要・直接会場へ（先着 500 名）